

## 静寂

花開く孤独な部屋  
静かに想いを漂わせる空気に  
ああ、戸外よ、広さよ

まっすぐに立ち昇る煙草の烟り  
脚を組んだその上に  
ああ、友人たちよ、語らいよ

ガラス窓から見渡す曇り空  
ゆっくりと横切ってゆく荷馬車の上に  
ああ、ヴァイオリンよ、ピアノよ

うずくまっていた何かが目を上げる  
つぼみがかすかに緩み始めるように  
周囲の全てが誰ひとりとして気付かぬまま

目に見えぬ透明な流れが感覚にそっと手を置く  
暖かい腕がそっと肩を抱くように  
感情の開花を速めることもないまま

限りなく沈黙に近い旋律の流れが  
全ての向こう側で響いている  
それを奏する者は誰も居ないのに

(1984.10.17)